

平成二十二年四月十六日提出
質問第四〇〇号

核セキユリテイ・サミットにおける日米首脳会談に関する質問主意書

提出者 鈴木宗男

核セキュリティ・サミットにおける日米首脳会談に関する質問主意書

本年四月十二日から十三日にかけて、米国ワシントンで核セキュリティ・サミットが開催された。また、十二日夜の四十七か国の首脳らが集う夕食会において、鳩山由紀夫内閣総理大臣とオバマ米国大統領は、十
分程会談（以下、「首脳会談」という。）を行っている。右を踏まえ、質問する。

一 「首脳会談」の具体的内容を説明されたい。

二 「首脳会談」に同席した日本側の者の官職と氏名を全て挙げられたい。

三 「首脳会談」につき、在米国日本国大使館は現地記者はじめマスメディアに対してどのような説明を行っているか。

四 「首脳会談」につき、外務本省はマスメディアに対してどのような説明を行っているか。

五 「首脳会談」に対する外務省の評価如何。「首脳会談」はどのような意義があり、それによりどのような成果が得られたと認識しているか。

六 「首脳会談」に関しては、例えば本年四月十四日の米紙ワシントン・ポストがコラムの中で、オバマ大統領とわずか十分しか会談できなかった鳩山総理を「最大の敗北者」とする旨の記事を掲載している。ま

た、日本の新聞報道も、概して「首脳会談」を評価せず、むしろ酷評する論調が多いと承知する。「首脳会談」の成果、意義等につき、外務省は対外的な説明をきちんと行っているのか。右質問する。